

## 神奈川県自衛隊遺族会総会を支援 「遺族と自衛隊との絆深まる。」



「山ゆり会」総会



「山ゆり会」昼食会

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本貢祐）は、5月9日（木）、同地本において神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」の総会を支援した。

神奈川県内居住の自衛隊遺族を会員とする「山ゆり会」は、例年この時期に総会が実施されており、神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」の総会を支援したものである。

総会には10名のご遺族が出席し、「山ゆり会」の前年度事業と収支報告、及び令和元年度の事業計画と予算案について審議された。

総会終了後には神奈川県本庁舎内の見学を実施し、特に屋上からは富士山の遠景や、建物周辺に広がる中華街の街並み、ランドマークタワー等、みなとみらい地区のビル群の眺望を堪能した。

その後、オリンピック開催に向けて改装中である横浜スタジアム近くのホテルに移動して昼食会を実施したが、特に、昼食会においては会員相互と事務局職員とが近況を語り合い、和気あいあいと時を過ごした。

神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」を積極的に支援し、会員相互の親睦と自衛隊との絆を更に深めていきたいとしている。

## 受験予定者が陸上自衛隊施設学校を見学

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 兼本 貢祐 1等海佐）は5月16日（木）、神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」の総会を支援した。同日、陸上自衛隊施設学校見学「（勝田駐屯地）」を実施し、陸上自衛隊受験予定者等12名が参加した。

見学内容は、プリーフィング、施設科装備品展示、隊員食堂での体験喫食、渡河訓練の見学であった。

装備品展示では、92式地雷原処理車、92式浮橋、91式戦車橋、94式水際地雷敷設置等、施設科の保有する特色ある装備品が展示され、広報担当者それぞれの装備品の役割等を説明すると参加者は一様に興味津々の様子であった。

渡河訓練の見学では、駐屯地近傍の那珂川河川敷に移動し、初級陸曹施設課程に入校している学生による軽門橋の構築訓練を見学した。学生たちは、教官の指導の下、小銃を携え戦闘状況下での命令下達や構築作業を実施し、休憩間にはお互いの改善点を指摘しあったり、良好な点は褒め合ったりするなど、気勢溢れる教育訓練の現場を垣間見ることができ、参加者たちは訓練に見入っていた。

参加者からは、「隊員の教育訓練の様子を知り、私もこのような環境で仲間と切磋琢磨したいと感じました」「学生が皆、とても伸び伸びとしていて良い雰囲気だと感じ、入隊意欲が向上しました」と頼もしい言葉を聞くことができました。

神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」を通じて自衛隊員の訓練や生活を多くの人に見て知ってもらうことで、一人でも多くの志願者を獲得できるよう募集活動に励んでいきたい」としている。



渡河訓練を見学する参加者たち（那珂川河川敷）



装備品展示で説明を受ける参加者たち（陸上自衛隊施設学校）